



カリフラワー編

病害虫注意報 2023年10月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

今月の病害虫対策

病害虫（コナガ、ハスモンヨトウ、ベと病、黒腐病など）の生育適温となり多発する可能性があります。予防的なローテーション散布を行い、発生前から防除していきましょう。



コナガ

被害

- ▶ 薄皮や葉脈を残した食害

多発条件

- ▶ 20～25℃程度
- ▶ 少雨



ベと病

症状

- ▶ 葉裏・花蕾などの黒変
- ▶ 汚白色のかび
- ▶ 収穫期に花蕾や主茎内部に発生する場合もある

多発条件

- ▶ 連続する降雨
- ▶ 長時間の植物の濡れ

※画像はブロッコリーベと病

今月のおすすめローテーション

対象害虫によって使用の希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
①	6	コナガ・オタバコガ アムシ・アザミウマ類	アフーム乳剤	1,000～2,000倍	3日前	3回
②	7,11	ベと病	予・治 シグナムWDG※	1,500～2,000倍	7日前	2回
	30	コナガ・ハスモンヨトウ シイハモジヨトウ オタバコガ等	ブロフレアSC※	2,000～4,000倍	前日	3回
③	22B	コナガ・ヨウムシ・アムシ	アクセルフロアブル	1,000倍	前日	2回
④	5	コナガ・ハスモンヨトウ ヨウムシ・アムシ等	ディアナSC	2,500～5,000倍	前日	2回
	21	ベと病	予 ランマンフロアブル	2,000倍	3日前	4回

※：はなやさい類登録

組織内に発生するべと病に注意！

組織内に発生するべと病は**花蕾や花柄、主茎内部**に症状が出ます！



写真はブロッコリー

べと病は育苗期に発生する機会が多く発生箇所も下葉の発生が多い病気であった

近年では… ↓

収穫期に切断すると水浸状、黒褐色不正形の斑点を生じる**収穫まで気づかない**場合が多い
顕著な場合、**花蕾が変色したり奇形**になったりする

対策

- 前作の発生残渣を適切に処分する
- 適切な肥培管理を行う
- 排水不良圃場の改善を行う
- 苗床では密植を避ける
- 予防的な薬剤散布